

設 立 趣 旨 書

特定非営利活動法人 Q. B

今、障害者福祉は大きく変わろうとしています。ノーマライゼーションの理念のもと、「施設から地域へ」「自立と社会参加」「機会平等の実現」「権利平等の保障」「バリアフリー」等々が、理念や目的として掲げられる時代となりました。それが世界的な主流であり、多くの障害者が訴え願い続けてきたことでもありました。

また社会福祉基礎構造改革の中で、「措置制度から支援費制度」へ福祉の制度が大きく変わろうとする分岐点に立たされています。

しかし、現実には、街で暮らす障害のある人の生活は、家族が一身に背負い、日々介助を続けることによって成り立っています。そして、家族が支えきれなくなるとたちまち「障害」をもった人たちは、地域の中で生きていけなくなる厳しい現実があります。

人は家族の愛がなければ生きていけないものです。

でも家族の世界だけでも生きていけないものです。

地域の中で、「障害」をもつ人・その家族を支える、人・場があれば、「障害」がある・ない、「障害」が重い・軽いにかかわらず、ひとりの人間として小さなうちから、地域の中でいろんな人たちと出会い、いろんな経験を積み重ねながら共に生きていけると思うのです。

「障害」をもつ人たちが、

地域で生き生きとした生活が送れるように

「障害」をもつ人と一緒に暮らす家族の人たちが、

介護に疲れてしまわないように

必要なサービスを必要なときに届けながら、「障害」がある人、その家族と共に活動を展開していきたいとおもいます。

そんなおもいを地域の皆さんと共にふくらませていけたら、障害者のサービスだけにとどまらず、地域で暮らすみんなが、“困ったときはお互いさま”と、手と手を取りあい、生きていける。

そんな地域社会の実現を目指し、より社会的な存在として、より多くの人たちと協働できるよう、特定非営利活動法人 Q. B を設立します。